

《ポスター発表 概要》

10月4日金曜日の6、7校時に2学年による学術研究Ⅱ「ポスター発表」があった。ゼミに分かれて、班ごとに昨年度2月から始めた本格的な課題研究のこれまでの活動内容や、現時点での成果、これからの研究の展望などを発表した。また、大学生のTAや先生方、79回生、そして同級生との質疑応答により、新しい気づきを得るなど、有意義な時間を過ごすことができた。

《各ゼミにおける発表の様子》

物理ゼミ

1年生が積極的に質問を行っており、1年生と2年生のどちらにとっても有意義な発表の時間となったと思われる。2年生は発表での改善点がまだまだあるため、次回の発表に向けて更に研究をつめていって欲しい。

地学ゼミ

地学室の5カ所にポスターを貼り、発表者も聴衆も10分ごとに入れ替わりながら、時間を最大限活用して発表を行った。質疑応答では生徒だけでなく、全ての班が担当教員やTAの方からアドバイスを頂き、各班新たな課題や修正点が見つかったように思えた。

化学ゼミ

全体として、1グループあたりの質問が少なく、質疑応答があまり行われていなかったのが残念だった。仮説とは反対の結果が出たが、聞いている側が納得のできる考察と改善点、これからの展望を述べている班があり、良いと思った

数学ゼミ

前回より発表への準備をしっかりと行っている印象だった。1年生を前にはじめは緊張していたが回数を重ねるたびに良くなっていった。また、会場準備が不十分であったため改善したい。

生物ゼミ

1年生が発表を見に来るといふことで、いつもよりも緊張感のある空気の中で発表が行われた。どの班も中間発表の時から研究が進んでおり、とても見応えのある発表だった。また、質疑応答の時間には1年生からの質問も多く飛び交い、2年生の研究で飛躍している分を指摘するなど、意義のある質問を多く挙げてくれた。

情報ゼミ

発表はスムーズに進行したが、質疑応答の時間が長くなり間が空いてしまうことが多かった。いくつかの発表では意義のある質問も見られて良かった。

国語ゼミ

ゼミの特徴として文献調査をする班が多いため、結果が主観になっていないかと指摘されることが多かったが、どの班も研究の観点を適切に定めることができていたように感じた。学年を問わず、積極的な質疑応答が行われており、非常に有意義な時間となった。ゼミ担当の先生方からは、情報やデータ数の確保など、更に研究を深める必要があるのではないかとアドバイスをいただいた。



質疑応答の様子

地歴ゼミ

データを示すことが難しい研究をしている班もあり、難航している様子が所々見られたものの、質疑応答が活発に行われ、先生や教授の方々から貴重なアドバイスを各班いただくことができたので、全体発表に向けて修正したい。



発表の様子

公民ゼミ

現在の世の中の状況にしっかりと目を向け、社会をより良いものにしていこうとする意識がどの班にも強く表れていた。一年生が活発に質問をしており、二年生も質疑応答に慣れた様子で真摯に対応しており、いい雰囲気の発表会だった。



質疑応答の様子

英語ゼミ

前回の中間発表と比較すると、ほとんどの人がスラスラと英語を話すことができていた上に、質疑応答でも、質問の意図にあった回答をすることができていた。

保体ゼミ

多くの班で前回の発表の反省を生かしたポスターや質疑応答の工夫が見られた。研究の路線を大きく変更した班もあり、興味をひくような発表が多かった。説得力をもう少しつけていきたい。

音楽ゼミ

一年生からの鋭い質問が多くハッとさせられることが多かった。予想外の質問に足元をすくわれたため、自分たちの研究に対する総合的な理解がまだまだ足りないことに気づかされた。



発表の様子

家庭ゼミ

1回目と2回目に分けて発表を行ったが、どちらも研究の参考になる質問が多く飛び交った。完璧な暗記でなく原稿を持ちながらの発表となっており、ポスターの改良を進め、次回は完璧な発表を目指したい。

災害研究ゼミ

人文では文献をよく調べ、自然科学では実験で改良を重ねながら何度も実施してデータを取るなどそれぞれの良い面が出た発表だった。

編集後記

どのゼミも、現在の進捗状況をしっかりと伝えることができたようであった。また、質疑応答によって、研究を行っている自分たちでは思いついていなかったような新たな視点からの考えを受け取れたように思う。全ての班、自分達の研究や発表に対する課題が明らかになったと思うため、改善をしつつ、研究を進めていってほしい。